

令和4年度
全国学力・学習状況調査
調査結果の概要

令和4年度全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について

1 調査の概要

- (1) 実施日 令和4年4月19日(火)
- (2) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒
- (3) 調査内容
- 教科に関する調査 小学校(国語、算数、理科) 中学校(国語、数学、理科)
調査問題では、下記①と②を一体的に問うこととする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
 - 質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査
- (4) 参加状況(全国で公立小学校18,671校、公立中学校9,348校が4月19日に調査を実施)

○ 本県(公立)

	参加校	19日実施校	後日実施校
小学校	182	182	0
中学校	94	93	1
義務教育学校(前期課程)	6	6	0
義務教育学校(後期課程)	4	4	0
特別支援学校(小学部)	1	1	0
特別支援学校(中学部)	2	2	0

2 教科に関する調査結果の概要

		国語		算数・数学		理科	
		全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	平均正答数 (問)	9.2/14 (9.1/14)	8.9/14 (8.6/14)	10.1/16 (11.2/16)	10.0/16 (11.1/16)	10.8/17 (9.6/16)	10.3/17 (9.5/16)
	平均正答率 (%)	65.6 (64.7)	63 (61)	63.2 (70.2)	62 (69)	63.3 (60.3)	61 (59)
中学校	平均正答数 (問)	9.7/14 (9.0/14)	9.5/14 (8.7/14)	7.2/14 (9.1/16)	7.0/14 (8.7/16)	10.4/21 (17.9/27)	10.0/21 (17.3/27)
	平均正答率 (%)	69.0 (64.6)	68 (62)	51.4 (57.2)	50 (54)	49.3 (66.1)	48 (64)

国語、算数・数学の()内は令和3年度の結果、理科の()内は平成30年度の結果
 ※平成29年度から、国からの各都道府県別の平均正答率の提供が整数値となったため、奈良県の平均正答率は整数値で示しています。

小学校においては、

国語の調査において、全国平均正答数を0.3ポイント下回っている。

算数の調査において、全国平均正答数を0.1ポイント下回っている。

理科の調査において、全国平均正答数を0.5ポイント下回っている。

中学校においては、

国語の調査において、全国平均正答数を0.2ポイント下回っている。

数学の調査において、全国平均正答数を0.2ポイント下回っている。

理科の調査において、全国平均正答数を0.4ポイント下回っている。

文部科学省によると、各教科の課題として、例えば、以下のようなものが挙げられている。

- 文章の構成や展開について感想や意見を伝え合うことを通して自分の文章のよさを見付けることに課題がある。(〈小学校国語〉(「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける問題」全国平均37.7%、奈良県平均31.9%))
- 日常生活の場面に即して、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。(〈小学校算数〉(「数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかを問う問題」全国平均21.4%、奈良県平均23.5%))
- 気付いたことを基に分析して解釈し、適切な問題を見いだすことに課題がある。(〈小学校理科〉(「育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ問題」全国平均65.5%、奈良県平均62.4%))
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことに課題がある。(〈中学校国語〉(「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く問題」全国平均46.5%、奈良県平均45.4%))
- 日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題がある。(〈中学校数学〉(「日常的な事象の数学化と問題解決の方法を説明する問題」全国平均38.4%、奈良県平均34.9%))
- 他者の考えの妥当性を検討したり、実験の計画が適切か検討して改善したりすることに課題がある。(〈中学校理科〉(「実験で得られた考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する間隔や範囲の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる問題」全国平均43.3%、奈良県平均39.7%))

3 質問紙調査について

文部科学省によると、全国の調査結果を、以下のように分析している。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

- 児童生徒質問紙調査において、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」との質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比べて横ばいである。(奈良県：小学校73.4%、中学校72.5%)
- 学校質問紙調査において、「児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」との質問に肯定的に回答した学校ほど、各教科の平均正答率が高い傾向が見られた。(奈良県：小学校74.1%、中学校77.7%)

ICTを活用した学習状況

- 学校質問紙調査において、教員の大型提示装置等のICT機器を活用した授業の頻度は増加しており、「ほぼ毎日実施した」と回答した学校の割合は昨年度と比べて約10ポイント増加している。(奈良県：小学校67.7%、中学校66.7%)
- 児童生徒質問紙調査において、児童生徒の授業でのコンピュータなどのICT機器の使用頻度は増加しており、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合は昨年度と比べて約15ポイント増加している。(奈良県：小学校27.3%、中学校18.3%)

理科の授業における観察や実験に関する状況

- 学校質問紙調査において、「自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか」との質問に肯定的に回答した小・中学校の割合は、平成30年度と比べて増加している。(奈良県：小学校90.0%、中学校70.7%)
- 児童生徒質問紙調査において、「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」との質問に肯定的に回答した割合は、平成30年度と比べて特に中学校の生徒で増加している。(奈良県：小学校72.7%、中学校50.4%)

4 今後の本県での取組

- ・全国学力・学習状況調査の結果を活用した指導改善について、8月下旬に市町村教育委員会教育長、9月に各小・中学校教員等を対象に説明会を実施する。
- ・学ぶ力の育成に向けて、「学ぶ力育成実践研究事業」を県内小学校6校で取り組み、その研究成果等を令和5年2月に開催予定の研修会で周知する予定。

○ 小学校国語の調査結果

国語については、全国の平均正答数は14問中9.2問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.3ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・相手とのつながりをつくる言葉の働きを捉えること。
- ・感想や意見を伝え合うことを通して自分の文章のよさを見付けること。

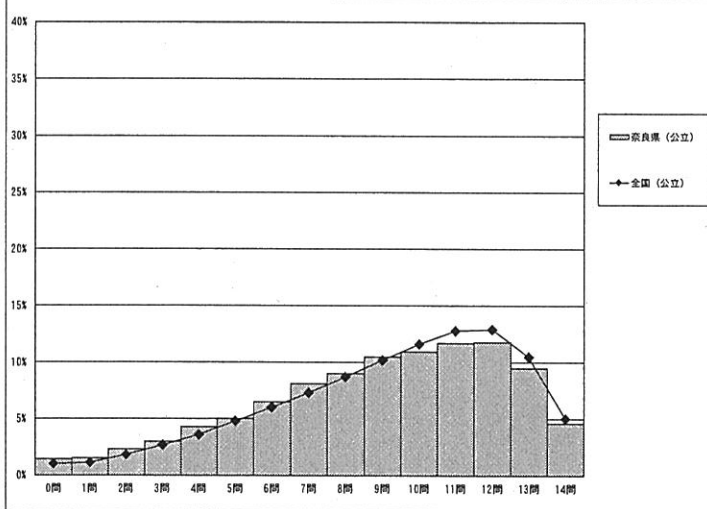
令和4年度全国学力・学習状況調査
調査結果概況【国語】
奈良県一児童（公立）

小学校調査

以下の集計値/グラフは、4月19日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	10,030	8.9 / 14	63	9.0	3.4
全国（公立）	965,308	9.2 / 14	65.6	10.0	3.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		全国（公立）
	児童数（公立）	割合 (%)	
14問	458	4.6	5.0
13問	955	9.5	10.5
12問	1,188	11.8	12.9
11問	1,170	11.7	12.8
10問	1,095	10.9	11.6
9問	1,054	10.5	10.2
8問	903	9.0	8.7
7問	813	8.1	7.3
6問	647	6.5	6.0
5問	498	5.0	4.8
4問	431	4.3	3.6
3問	302	3.0	2.7
2問	226	2.3	1.8
1問	148	1.5	1.1
0問	142	1.4	1.0

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県（公立）	全国（公立）
△ 第3四分位	12.0問	12.9問
◇ 第2四分位	9.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問

○ 小学校算数の調査結果

算数については、全国の平均正答数は16問中10.1問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・目的に合う円グラフを選び、読み取った情報を答えること。
- ・数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること。

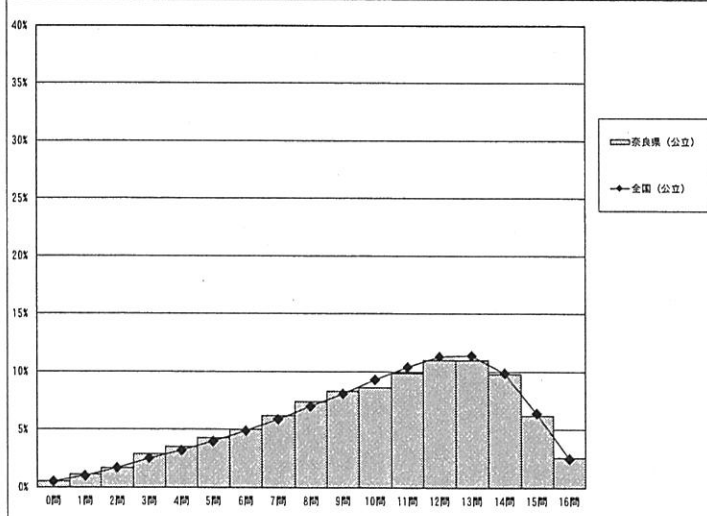
令和4年度全国学力・学習状況調査
調査結果概況【算数】
奈良県一児童（公立）

小学校調査

以下の集計値/グラフは、4月19日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県（公立）	10,029	10.0 / 16	62	11.0	3.7
全国（公立）	965,431	10.1 / 16	63.2	11.0	3.6

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		全国（公立）
	児童数（公立）	割合 (%)	
16問	263	2.6	2.5
15問	623	6.2	6.4
14問	981	9.8	9.9
13問	1,099	11.0	11.4
12問	1,103	11.0	11.3
11問	991	9.9	10.4
10問	863	8.6	9.3
9問	830	8.3	8.1
8問	747	7.4	7.0
7問	617	6.2	5.9
6問	502	5.0	4.9
5問	429	4.3	4.0
4問	356	3.5	3.2
3問	290	2.9	2.5
2問	166	1.7	1.7
1問	114	1.1	1.0
0問	55	0.5	0.5

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

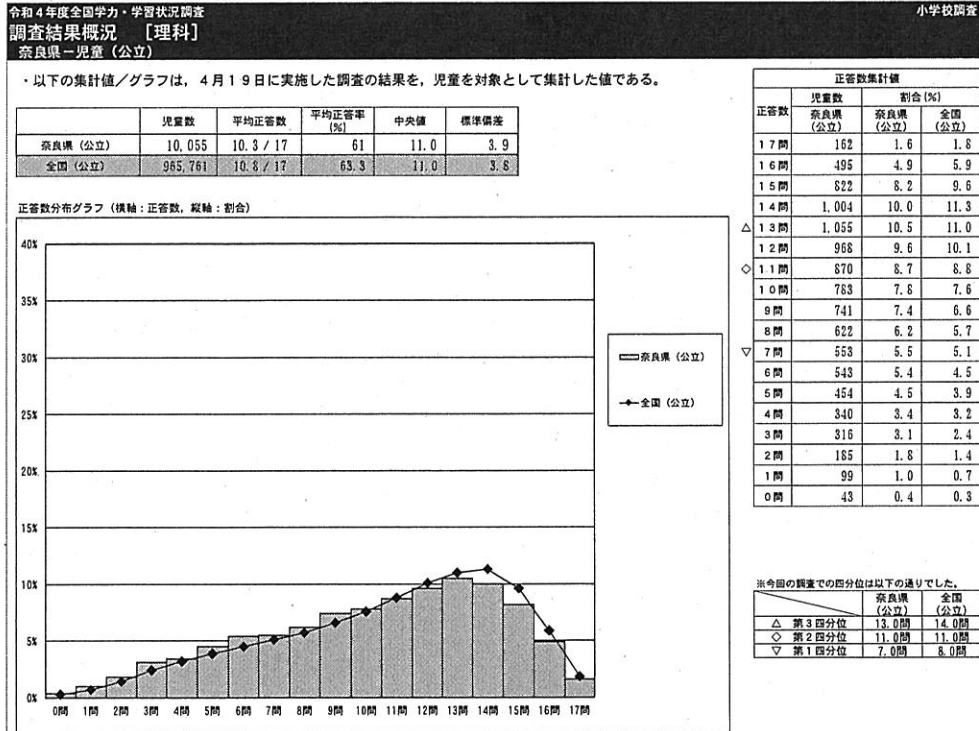
	奈良県（公立）	全国（公立）
△ 第3四分位	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	11.0問	11.0問
▽ 第1四分位	7.0問	8.0問

○ 小学校理科の調査結果

理科については、全国の平均正答数は17問中10.8問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.5ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・気付いたことを基に分析して解釈し、適切な問題を見いだすこと。
- ・知識を日常生活に関連付けて理解すること。

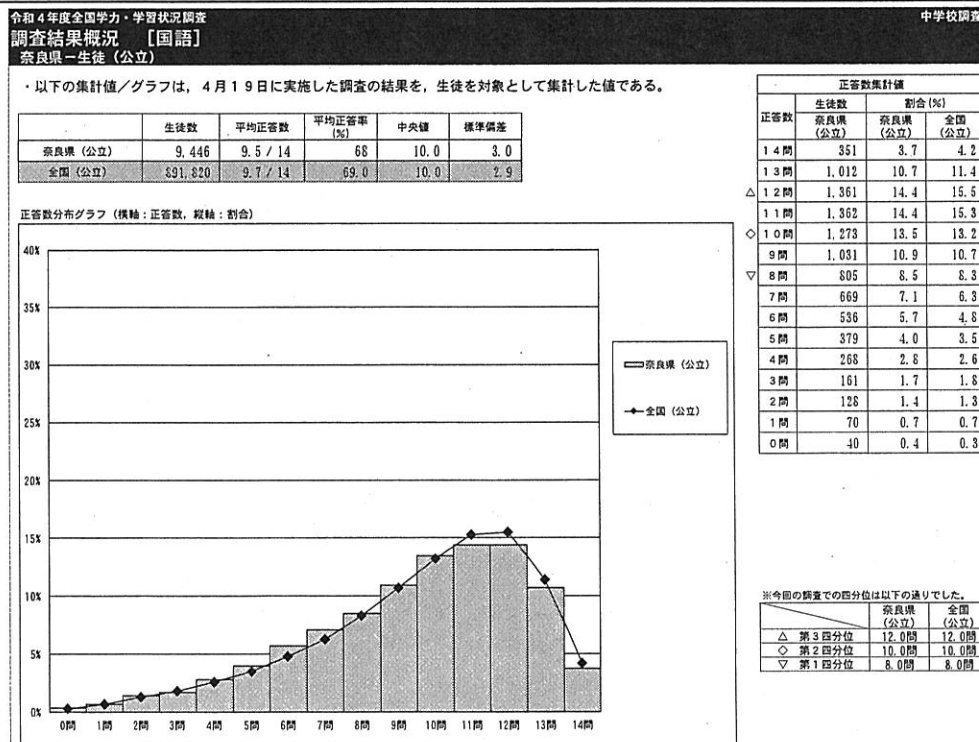


○ 中学校国語の調査結果

国語については、全国の平均正答数は14問中9.7問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.2ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くこと。
- ・話し方の工夫について自分で考えること。

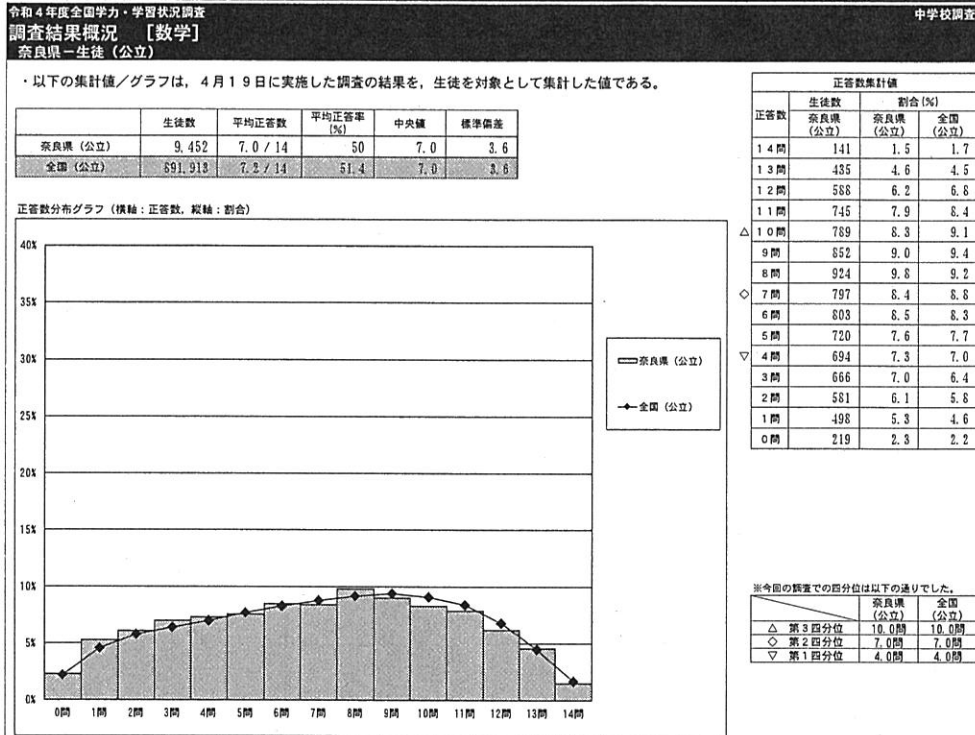


○ 中学校数学の調査結果

数学については、全国の平均正答数は14問中7.2問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.2ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・「箱ひげ図」からデータの分布の特徴を読み取ること。
- ・日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

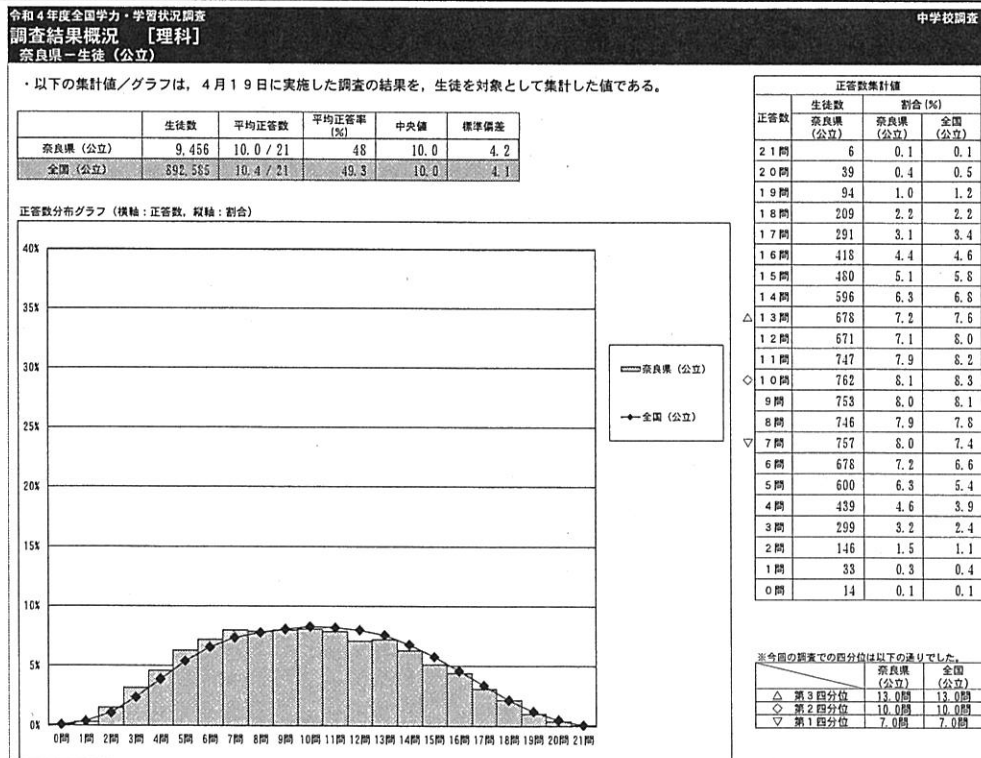


○ 中学校理科の調査結果


理科については、全国の平均正答数は21問中10.4問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.4ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・他者の考えの妥当性を検討したり、実験の計画が適切か検討して改善したりすること。



児童生徒質問紙調査の結果(抜粋)

 前回調査より上昇

○学習に対する関心・意欲等

質問		奈良県	全国	差	県R03	県H31	県H30	県H29
国語の勉強は好きだ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	55.2	59.2	-4.0	56.0	63.1	-	58.5
	中	58.0	61.9	-3.9	57.5	59.1	-	56.7
国語の勉強は大切だ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	93.4	93.3	+0.1	93.2	94.1	-	90.5
	中	92.3	93.2	-0.9	91.4	90.2	-	86.8
国語の授業の内容はよく分かる (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	83.3	84.0	-0.7	83.3	86.8	-	82.7
	中	80.9	81.2	-0.3	79.7	78.3	-	73.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	91.3	91.8	-0.5	91.9	92.2	-	86.4
	中	88.3	89.7	-1.4	87.8	86.4	-	79.7
算数・数学の勉強は好きだ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	59.7	62.5	-2.8	63.7	65.8	60.2	63.9
	中	54.2	58.1	-3.9	53.5	53.6	49.9	54.6
算数・数学の勉強は大切だ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	94.5	94.2	+0.3	93.5	94.5	91.9	91.3
	中	84.6	86.6	-2.0	81.3	80.6	78.6	77.7
算数・数学の授業の内容はよく分かる (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	81.6	81.2	+0.4	83.2	84.4	83.1	80.6
	中	77.1	76.2	+0.9	73.6	74.6	71.4	70.9
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	93.3	93.3	±0	92.2	93.6	91.0	87.9
	中	73.6	76.5	-2.9	71.8	71.4	66.9	67.7
理科の勉強は好きだ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	77.1	79.7	-2.6	-	-	80.3	-
	中	61.1	66.4	-5.3	-	-	55.5	-
理科の勉強は大切だ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	85.5	86.5	-1.0	-	-	82.9	-
	中	72.8	76.8	-4.0	-	-	63.6	-
理科の授業の内容はよく分かる (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	87.3	88.5	-1.2	-	-	88.2	-
	中	75.8	75.2	+0.6	-	-	67.5	-
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	75.2	77.2	-2.0	-	-	69.6	-
	中	56.2	61.5	-5.3	-	-	47.8	-

○自尊心・利他心等

質問		奈良県	全国	差	県03	県31	県30	県29
自分には、よいところがあると思う (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	77.9	79.3	-1.4	74.4	79.8	82.6	76.2
	中	73.5	78.5	-5.0	71.6	71.2	75.4	66.7
将来の夢や目標を持っている (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	78.5	79.8	-1.3	78.7	83.5	84.1	84.6
	中	65.7	67.3	-1.6	64.5	68.8	70.3	68.8
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	85.4	87.2	-1.8	82.5	-	-	-
	中	83.6	86.6	-3.0	81.3	-	-	-
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	69.5	72.5	-3.0	68.3	77.4	-	76.3
	中	61.2	67.1	-5.9	61.4	67.5	-	68.7
人が困っているときは、進んで助けている (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	88.6	88.9	-0.3	87.9	87.7	-	86.1
	中	86.8	88.4	-1.6	86.3	82.9	-	82.2
人の役に立つ人間になりたい (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	95.7	95.1	+0.6	95.7	96.0	95.7	93.2
	中	94.6	95.0	-0.4	93.9	93.6	93.7	90.9
自分と違う意見について考えるのは楽しい (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	70.3	73.5	-3.2	66.9	-	-	-
	中	70.6	76.9	-6.3	68.6	-	-	-

○ICTを活用した学習状況

質問		奈良県	全国	差	県03	県31	県30	県29
前学年までに受けた授業で、ICT機器をどの程度使用しましたか (ほぼ毎日、週3回以上、週1回以上)	小	84.5	83.2	+1.3	54.4	24.2	-	-
	中	74.8	80.6	-5.8	39.0	31.3	-	-
学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか (ほぼ毎日、週3回以上、週1回以上)	小	74.6	76.1	-1.5	-	-	-	-
	中	61.3	71.7	-10.4	-	-	-	-
学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか (ほぼ毎日、週3回以上、週1回以上)	小	50.2	49.4	+0.8	-	-	-	-
	中	37.1	43.5	-6.4	-	-	-	-
学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか (ほぼ毎日、週3回以上、週1回以上)	小	47.0	45.2	+1.8	-	-	-	-
	中	28.6	35.3	-6.7	-	-	-	-

○学習者を主体とした授業改善に関する取組状況

質問		奈良県	全国	差	県R03	県H31	県H30	県H29
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか (発表していた、どちらかといえば発表していた)	小	63.1	65.4	-2.3	59.7	59.0	56.1	61.1
	中	56.6	63.3	-6.7	52.7	45.1	42.9	47.9
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	73.4	77.3	-3.9	75.3	74.3	72.1	74.3
	中	72.5	79.2	-6.7	76.4	69.3	66.6	66.0
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	65.1	72.2	-7.1	-	-	-	-
	中	52.0	67.4	-15.4	-	-	-	-
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	77.2	79.7	-2.5	78.6	-	-	-
	中	71.0	75.3	-4.3	71.4	-	-	-